

大阪府立岸和田高校同窓会
会員各位

**「大阪教育ゆめ基金」を通じた
岸和田高校の「プロジェクターによるICT環境の充実事業」への寄附のお願い**

岸和田高校同窓会会員の皆様におかれましては、日頃より同窓会の活動にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、別添の『大阪教育ゆめ基金』における岸和田高校の取り組みと寄附の方法」にありますとおり、「大阪教育ゆめ基金」の制度が拡充され、寄附者が「ふるさと納税制度」を通じて、母校や地域の学校など応援したい学校等の取り組みを指定し、寄附を行うことができるようになりました。

この「大阪教育ゆめ基金」については従来、大阪府の教育全体の充実を目的として、教育庁の裁量でその用途が決められていましたが、本校同窓会が大阪府議会を通じて「寄附者の意向を反映できる制度も必要ではないか」との意見を訴えたこともあり、令和4年4月1日より制度が拡充されました。

その制度の拡充を受けて、岸和田高校では、「プロジェクターによるICT環境の充実事業」を立ち上げ、寄附を募ることになりました。

当初、制度拡充を訴えたのは「岸高グローバル人材育成支援基金」の更なる充実を目指したものであります。同基金からは毎年生徒の短期留学費の一部負担など、国際空港を擁する地元泉州におけるグローバル人材育成を目的に在校生を支援してきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により短期留学ができない状況もあり、前述の事業を立ち上げたところです。

2018年の調査において、日本のICT教育充実度はOECD37ヶ国中の最下位であり、ICT教育の充実が求められています。また、ICT教育環境を整えることにより、英語教育充実の一助になればと期待しています。

岸和田高校ではすでに普通教室等にプロジェクターが設置されていますが、型が古く、低解像度の上、明るさが足りないため、小さな文字については認識することが困難の状況がみられます。特に、3年生の教室に設置しているプロジェクターが最も古く、すでにサポート期間も終了しています。来年度に向けては、3年生の教室と視聴覚教室の10台分の更新を考えていますが、今後3年間で全ての普通教室・展開教室など30台分を更新したいと考えています。3年間で総額1,035万円の寄附をお願いすることになりました。

ふるさと納税制度を利用することにより、寄附額から2,000円を引いた金額が税から控除されます。また、法人・団体の場合は、損金扱いとする事ができます。寄附の方法など、詳細については別紙資料をご確認ください。返礼品はありませんが、「後輩である」、これからの岸高生のために皆様方のご寄附をお願い申し上げます。

令和4年9月吉日

大阪府立岸和田高等学校
学校長 植木 信博
PTA会長 竹村 太
同窓会長 新田谷 修司